

日 時 平成20年9月7日12時54分キックオフ（快晴）

会 場 生目の杜多目的グラウンド（天然芝）

相 手 ロッカーズ

結 果 4-0（3-0、1-0）

得点者 緒方2、黒田、渡邊

内 容

今回は、9月の3連戦（TCF）の初戦で、リーグ戦第5戦。ここまで3勝1敗で、あと1勝が残留確定ラインといったところか？相手はロッカーズ。昨年は、苦しみながらも2-0で勝利を収めたが、豪雨の中の試合であり、あまり参考にはならない。

年齢層は、20代後半～30代前半と、当然フェニックスよりも若い。昨年の試合は18番にかき回されたものの、濡れたピッチにも救われた感があり、注意が必要であった。

一方、フェニックスは、監督を含めメンバー16人を揃え盤石。必需品の梅干し君も同行。夏場の練習の成果が試されるところである。日高コーチから、バランスを考えて動くこと、DFラインはいつものように上げ気味で、相手のスルーパスに対しては無理にオフサイドを狙わず引いて対応するよう指示があった。ユニフォームは久々のオランダ。昨日の日本代表のW杯予選では、闘莉王が、久保野を彷彿とさせるバックヘッド+オウンゴールを決めており、個人的に注意の指示があった。気温は30度弱くらい。風は微風。

というわけで試合開始。開始直後から、珍しくフェニックスのペースで試合が進む。ロッカーズは、ここまでのフェニックスの戦績を恐れてかワントップで守備的に望んできた。しかも要注意の18番は左サイドハーフにおり、フェニックスとしてはありがたい布陣であった。相手DF陣のプレッシャーも甘く、攻撃陣は、比較的自由にプレーできた。

そうこうしているうちに、前半6分、カウンターからMF赤野が前線へスルーパス。これに反応した怪我から復帰の左サイド緒方からFW黒田へパスが通り、ペナルティエリア付近からフリーでシュート。これを、相手キーパーが一度はチャッチしたかに見えたが、黒田が高速回転（約20回/秒）させていたボールにキーパーがたまらずファブルし、ゴールに吸い込まれ、幸先良く先制点をゲット！

これも、試合開始前まで会場にいたジュニアの影響か？パパ、やったね！

（ただし、キーパーのミスでは？との見解もちらほら有り、..）

以降、大介が至近距離からのシュートがGKの正面をつく惜しい場面もあったりして、しつこい中盤のチェックをベースに県庁ペースで試合が進む。そして前半20分、右MF藤田が相手DFラインの裏にアーリークロスを上げ、中央でFW黒田が相手DFと競り合い、これに相手GKがつかれ、GKを越えて左サイドに流れたボールを待ち構えていた緒方が、無人のゴールへ確実に流し込み、貴重な追加点をゲット！これで、2-0。県庁ペースが確実に変わった。

ロッカーズはワントップのため、時折見せる攻撃も人数が足りておらず、県庁DF陣の素早いチェックに、対応できず。左サイドの18番も、鋭いドリブル突破を見せるも、フェニックスDF陣が複数で対応し、決定的チャンスを作るまでには至らず。一方フェニックスは、なかなか決まらないセットプレーからの得点を狙うも、コーナーキックからの谷口のヘッドは惜しくも枠外に、..

そして前半終了間際、左サイドを完全に崩し、MF 赤野が左サイドから中央でフリーの大介へパス。これをキーパーの逆を確実に突き、ゴールネットを揺らし、3-0！このまま、前半終了となった。

後半は、予定通り、DF 工藤を投入。前半と同じ戦い方で、開始10分を無失点で切り抜けるよう、意思統一した。風下の後半もフェニックスペース。相手もメンバー交代でリフレッシュを図るも、あまり声が出ておらず、3点差が堪えている模様。後半10分には、MF 越智を投入し、さらに相手をかき回す作戦に。しかし、CB（サイボーグ）三井のまさかの空振り（師匠：久保野）から相手FWにフリーでシュートを打たれるも、ボールが谷之木大明神に吸い込まれ正面でキャッチ。一瞬ヒヤリとした場面であった。

そして後半15分、MF 赤野が落としたボールをCB 三井が相手DFライン裏へ絶妙のスルーパス。これに反応しDFラインを抜け出した緒方が、フリーでシュートと思いきや、中に切り返し、相手DFにつきまとわれるも、確実にゴールに流し込み、勝負を決める4点目をゲット！これで、勝負あり。以降は、予定通り、DF 藤山を投入。最後まで、相手にペースを握らせることなく、このままタイムアップ。予想外の完勝で、4勝目をゲットした。

今回の試合は、相手のコンディションの悪さに助けられた感もありますが、真面目に走り、真面目にディフェンスした結果であり、4-0は妥当な結果と思われまふ。DF陣も、指示通りDFラインを高く保ち、3試合連続の無失点と、いつもの粘り強さを発揮できました。これで、4勝1敗。残留というより、優勝争いに絡んでしまっています。次節は、若干気楽に臨めそうです。次は沖電気が相手。今日も得点を取っていた6番が要注意。攻撃重視のチームで、フェニックスとはカラーが違いますが、勝利のチャンスはあると思われまふ。次節も、フェニックスらしい試合運びで、勝ち越し確定を目指して頑張りましよう。

なお、後半、エース黒田が数ある決定機を外しまくりテンションが下がり気味でしたが、次節の奮起を期待して、次節集合時にはこのことには一切触れず、「先週の黒田君の高速回転シュートは凄かったよね〜！」「やっぱ、あのエースの先制点が大きかったわ〜」と、エースを盛り立てて頂きますよう、ご配慮お願いします。

参加者

<先発>

FW（黒田、渡邊）

MF（緒方、赤野、渡部、藤田）

DF（谷口、久保野、三井、久保）

GK（谷之木）

<交代>

DF（工藤） 後半（久保に代わって出場）

MF（越智） 後半10分（藤田に代わって出場）

DF（藤山） 後半15分（緒方に代わって出場）

監督等 日高、高妻

応援 那須